

# 星空をつくる機械

## ～プラネタリウム 100 年史～



みなさんはプラネタリウムを見たことはありますか？

満天の星に癒されたり、迫力ある映像に感動したり、うっかり眠ってしまったり、色々思い出を持っている方も多いでしょう。

プラネタリウムは映し出される星空の印象が強いのですが、縁の下の力持ちである「星をつくる機械」である投影機に注目する人は少ないかもしれません。しかしプラネタリウム投影機は魅力にあふれています。

1923年にプラネタリウムが誕生して100年。本講演では、プラネタリウムのしくみや歴史を楽しく紹介します。(後半はいつものように気軽な質問タイムです)

■ゲスト: 井上 毅(いのうえ たけし)さん [Twitter@INOUE\\_Takeshi](#)

明石市立天文科学館館長。天文普及に携わり、「世界天文年 2009」日本委員会企画委員、金環日食限界線研究会代表、日本プラネタリウム協議会「プラネタリウム 100 周年記念事業」実行委員長などを務める。

山口大学時間学研究所客員教授。専門は、天文教育、時の文化史、プラネタリウムの歴史など。

著書に『時の記念日のおはなし』(明石市立天文科学館)、共著に『時間の日本史』(小学館)、『星空をつくる機械プラネタリウム 100 年史(KADOKAWA)』。

2024年 12月7日(土) 14:00~16:00

会場: ラスタホール2階 多目的室2 (伊丹市立生涯学習センター)

参加費800円(税込)・要事前予約・詳細は裏面をご覧ください

子どものころ遠足で大阪の電気科学館に行ったなあ。  
あそこにあったのが、日本で最初のプラネタリウムって聞いたことがあるけど・・・

プラネタリウムって、鉄アレイみたいな形と思っていたけど、  
この前、伊丹の科学館に行ったら全然違う型だったよ。

100年前のプラネタリウムってどんなだったんだろう。  
100年もたったら今と全然違うんだろうな。

そういえば、プラネタリウムってどういう原理なんだろう？

Q サイエンスカフェって？

A 喫茶店で先生を囲んでお茶を飲みながら、先生の研究の話をネタにワイワイお話しするのが元で、ヨーロッパで始まりました。カフェ伊丹では、前半に先生のお話を伺い、後半50分を語りタイムとして、気軽にいろんな質問をできる時間に行っています。

Q 物理や化学なんて、高校の時にあきらめたんだけど・・・

A そういうあなたにこそおすすめです。学校と違って、覚える必要も、すべてを理解する必要もないのです。参加して、あれ？ なんだかおもしろいかもって興味を持っていただけたら大成功！  
中高生も大歓迎！！

Q 知識がないので、質問するのは恥ずかしいなあ

A 知識より興味！何でも聞いちゃいましょう。そこから何かが生まれるかも。そうそう、自分が質問するより、他の方の質問を聞いているのが楽しいという方もおられます。その時は、どうぞ聞くことを楽しんでください。

■参加費：800円（税込）

■対象：中学生～大人

■定員：28人

■申込：要事前申し込み ラスタホールへ。

申し込みサイトは下記です。電話・来館でも可。

[https://www.lustrehall.com/lecture\\_category/lecture-course](https://www.lustrehall.com/lecture_category/lecture-course)

申し込みサイトの二次元バーコード→→→

電話 072-781-8877



○主催：サイエンスカフェ伊丹

○共催：公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団/ラスタホール、伊丹市教育委員会

○協力：神戸大学サイエンスショップ



・・・ラスタホールまでのルート

・・・ラスタホールまでのルート（住宅街の細目の道です。）

伊丹市立生涯学習センター  
伊丹市南野 2-3-25(火曜日休館)

LINE 公式アカウント はじめました！  
サイエンスカフェ伊丹の情報を中心に配信します。  
LINE からサイエンスカフェの申し込みサイトへも行けます。  
友だち登録よろしくお願ひします。

